

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-201535
(P2019-201535A)

(43) 公開日 令和1年11月21日(2019.11.21)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
HO2K 7/20 (2006.01)	HO2K 7/20	5H607
HO2K 7/02 (2006.01)	HO2K 7/02	

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2018-106481 (P2018-106481)
(22) 出願日 平成30年5月17日 (2018.5.17)

(71) 出願人 595086775
古川 長司
東京都江戸川区春江町5丁目12番地146
(72) 発明者 古川 長司
東京都江戸川区春江町5丁目12番地146
Fターム(参考) 5H607 AA11 BB02 BB26 CC03 CC05
DD03 DD19 EE02 EE31 EE36
EE42 FF34

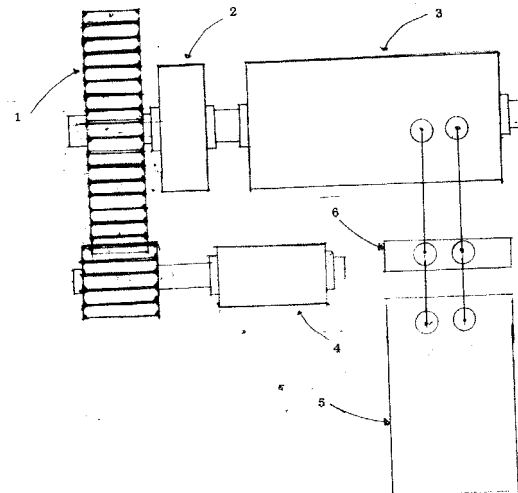
(54) 【発明の名称】 フライホイールの定回転数を維持し発電するシステム

(57) 【要約】

【課題】フライホイールの回転数を一定の設定回転数を保つ事でエネルギー消費が最も少ないのですこのため長い時間の発電が可能となります、フライホイールの回転数は空気・ベアリング・発電機等の負荷で回転が減速し回転が止まってしまいますこれがフライホイール発電の課題でした、変速機は電力使用量の常に変化しますこの変化に対応する為です。

【解決手段】フライホイールの回転数を止まらない様に小さなギア付高回転小電力モータでフライホイールの回転数を一定の設定回転数に保ち、フライホイール発電機が時間と共に回転数の減速や止まる事を防ぐシステムです、電力の使用量は常に変化しますこのフライホイール発電機システムのフライホイールの回転数が一定の為、変化に対応する為にフライホイールと発電機の間に変速機を組み込み変速機に入力する回転数を変える為の変速機です

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フライホイールの外周にテコの原理を利用する為ギアの設置を有する、ギア付フライホイール(1)のギアとギア付高回転小電力モータ(4)のギアを噛み合わせる、ギア付フライホイール(1)の目標設定回転数まで発電機(3)とギア付高回転小電力モータ(4)で外部電力を入力してギア付フライホイール(1)を目標設定回転数にする、ギア付フライホイール(1)が目標設定回転数に到達時には発電機(3)の外部電力の入力を切りコンバーター(6)を介してバッテリー(5)に充電する、ギア付フライホイール(1)の回転を止める事無く設定回転数維持して回転し続けます

【請求項 2】

ギア付フライホイール(1)は設定回転数維持して回転し続けますのでギア付フライホイール(1)と発電機(3)の間にクラッチ付変速機(2)で発電機(3)に inputs する回転数を制御します

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、ギア付フライホイール(1)をギア付高回転小電力モータ(4)で定速回転維持とクラッチ付変速機(2)で発電機(3)に inputs する回転数を変えて発電量の変化に対応に関する。

【背景技術】

【0002】

ギア付フライホイール(1)の設定回転数を維持のためにギア付高回転小電力モータ(4)のギアを噛み合わせることでギア付フライホイール(1)回転速度の設定回転数を保持する、ギア付フライホイール(1)の回転数が設定回転に保持されている為、クラッチ付変速機(2)で発電機(3)に入る回転数を変化させ発電機(3)の発電量を調節します。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特開 2007 - 82387

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

上記の発電システムは通常のフライホイールのように時間が経つと回転数が減速します、回転を上昇させるのにモータの回転力を軸でフライホイール回転数の上昇するシステムです、これでは大きなエネルギーが必要となります

【課題を解決するための手段】

本発明はテコの原理を利用してフライホイールの外周にギアを設置しギア付高回転小電力モータで(4)フライホイールの回転力を与えます、フライホイールのエネルギー保存の法則からギア付フライホイール(1)を決められた回転数を保つ事は最もエネルギー損失が少ないのです、ギア付フライホイール(1)を長く回し続けられます

【0005】

このシステム装置は化石燃料を使いません、また風力発電や水力発電の不安定要因がありませんよってこのシステム装置は二酸化炭素発生や地球温暖化を起こしません、ただしこのシステムはギア付高回転小電力モータの電気切れやギアの破損、バッテリーの劣化等で発電ができなくなりますので永続発電システムです

【図面の簡単な説明】

【0006】

【図 1】本発明に係るギア付フライホイール発電機とギア付高回転小電力モータの側面図

【図 2】ギア付フライホイールとギア付高回転小電力モータの正面図

10

20

30

40

50

【発明を実施するための形態】

【0007】

図1ないし図2は未発明に係るギア付フライホイール(1)発電機(3)とギア付高回転小電力モータ(4)によりギア付フライホイール(1)が定回転を維持するためにギア付高回転小電力モータで回転数(4)の補助回転力を与えます

【実施例】

【0008】

電気自動車のバッテリー充電に時間がかかりますが、このシステム装置を車積んでいれば走行時にも駐車時にもバッテリーに充電しています、よって自動車の長距離走行が可能となります

10

【産業上の利用可能性】

【0009】

本発明のフライホイール発電システムは建物や自動車・電車・船・飛行機等、その他の電気を必要とする全て電機製品の利用が可能です。

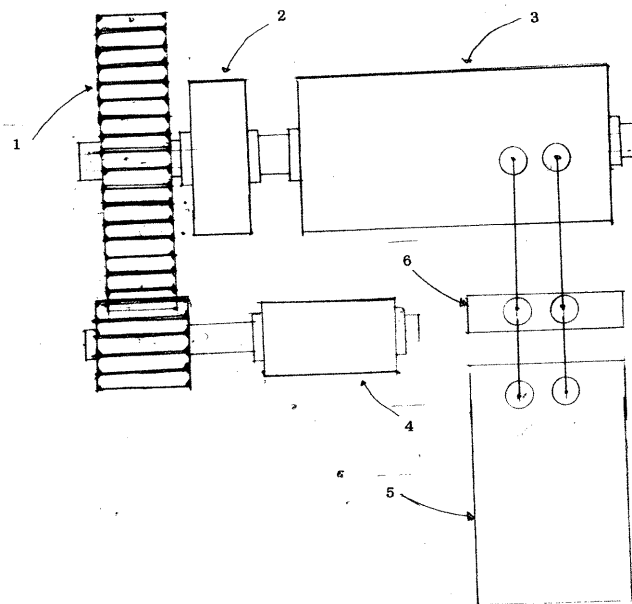
【符号の説明】

【0010】

- 1 ギア付フライホイール
- 2 クラッチ付変速機
- 3 発電機
- 4 ギア付高回転小電力モータ
- 5 バッテリー
- 6 コンバーター

20

【図1】



【図2】

